

2006年5月29日

八幡事業所 Tel. Fax 672-7595
sawayaka@eagle.ocn.ne.jp
小倉事業所 Tel. Fax 571-2299
sawayakokokura@violin.ocn.ne.jp



さわやか

第112号

発行者
特定非営利活動法人
通院介護センター
さわやか

情勢報告



「さわやか」と 私たちを取り巻く情勢

社会的弱者にとっては、何の時代も情勢は厳しいものがありました。今日この頃の世の中の動きは、弱者いじめが特にひどくなったような気がします。医療費の三割負担、診療報酬の値下げ、介護保険料の値上げ、介護保険利用者の介護制限、障害者・難病患者の福祉サービスの割負担等々、社会的弱者にとって良い話は中々見当たりません。厚生省が計画した、「障害者プラン」十五ヶ年計画が平成十七年度で終了し、あたらしい、「障害者基本計画」

障害者自立支援法は

- (1) 知的障害・精神障害・身体障害を一元化
- (2) 障害者の就労支援
- (3) 福祉サービスの一体化負担の導入

が決められ、四月一日より、実施されています。

このように厳しい情勢の中で、「さわやか」の通院送迎のボランティア活動も大変な規制がかけられようとしています。

福祉有償運送は過去三十年謝金の範囲内で、白タク行為ではなく、グレーゾーンとして認められてきました。平成十一年四月一日から介護保険制度が施行され、ボランティアによる通院送迎が問題にされ、「移送サービス・ガイドライン」という通達がかけられようとなりました。

賛否両論激突するなかで、今年十月一日に、福祉有償運送が法令化されることになりました。

全腎協の国土交通省との交渉のなかで、国土交通局長は、「単に社会通念的な謝金の收受は有償と解さない」と答弁しました。このことにより、今までの規制が若干緩和され

るものと思われれます。

六月一日からは、道路交通法の改正で、駐車車の取締りが厳しくなります。民間人に取締りの権限を与え、一分でも車を離れると、駐車違反のキップをきられることになりました。これも、通院送迎にとっては大きな問題です。

また、厚生労働省は、療養型病棟を、大幅に削減すると発表しました。透析患者の入院ベットがなくなると、いままで以上に、通院送迎が大事になってきます。今までは、殆ど規制がなかった通院送迎に、講習の義務づけ、任意保険加入、登録の許可制、等々の規制がかかる一方で、介護保険による送迎は、一回九〇〇円ほどの費用がかかるようになりまし。

また、障害者自立支援法では、障害者通所授産施設と障害者小規模共同作業所は、五年以内に新規事業に移行しなければなりません。「さわや



第25回 ボランティア研修会のお知らせ

日時 7月9日(日)
10時~15時

場所 真鶴会館(小倉北区)

内容 福祉有償運送について
北九州市 保健福祉局 計画課
道路交通法改正について
小倉北署 交通課

☆☆詳細は後日お知らせ致します☆☆

か」も新規事業に移行しよう」と試みましたが、障害者自立支援法による基準をクリアするのが困難なことが判明しました。

よって、「さわやか」は、国の新規事業には参入せず、市町村が行なう、生活支援事業として存続することになる予定です。

このように、激しく揺れ動く情勢の中で、内部障害者(透析患者)及び難病患者の通院送迎の役割は、今までも増して重要になってきました。制度改正による規制の強化に対し、全腎協、福腎協、市腎友会との活動の連携は益々重要になってきています。

【通院送迎II福祉有償運送】ひとつ見ただけでも、クリアしなければならぬ課題が山積しています。私達はこれらの問題に対し、ひとつずつ前向きに解決して行こうと思っています。





時の記念日6月10日



時間を尊重する意識を持ってもらおうと、1920年6月10日を「時の記念日」と制定。6月10日に天智天皇が近江の大津宮(現在の滋賀県大津市)に初めて水時計の時計台を設置。当時は二人交代で水時計の水の量をチェックし、鐘や太鼓で時報を鳴らして人々に知らせていたそうです。

昔の時間の呼び名

現在は一日を二十四等分にして時刻を数字でいうが、昔は一日を十二等分し、十二に区切った時刻に十二支を当てはめて呼んでいた。時代劇などでは今でも使われている。

「おやつ」の由来

かつて宮中では時刻を太鼓の音により知らされており、食事は通常一日二食だったが、太鼓の音が八つ鳴らされる時間(午後一時〜二時)なるとおなかやすいてくる。そこで軽く間食を取ることが多く、それを「御八つ」というようになった。

サマータイム

夏の間、時間を一時間早める制度のこと。夏は日の出が早いので、明るい時間を有効に使うことが目的。実施時間は国によって違うが四月の最初の日曜から十月の最初の日曜の間に実施することが多い。欧米では一般化しているが、日本では現在検討中。

六月の歳時記



夏至

6月21日

一年の中で最も昼間が長く、夜が短くなる日。最も昼間が短く夜が長くなる冬至(十二月二十二日頃)に比べると、昼間の時間差は4時間50分もあります。「夏に至る」で、暦では夏にあたりますが、実際は梅雨の真っ最中です。

太陽の光を一番長く浴びることのできる夏至。太陽はパワーの源です。天気の良い日は積極的に外に出て、散策でもしてみませんか。(紫外線対策を万全に!)

入梅

6月11日



「梅雨入り」ともいい、暦のうえでは入梅は夏至の役十日前頃になります。「梅雨」という言葉は、ちょうど梅の実が熟す頃に雨が降ることからつけられたといわれます。実際には気象庁から入梅宣言が出されると「梅雨に入った」といいます。今年に入梅が早いようです。今回は、梅雨にちなんでいくつかの雨をご紹介します。

- 小糠雨(こぬかあめ) 春先にしとしと降る雨。
- 翠雨(すいう) ・ 青景色に降りかかる雨。
- 甘雨(かんう) ・ 草や木をうるおす雨。
- 菜種梅雨(なたねづゆ) 菜の花が咲くころ降る雨。
- 麦雨(ばくう) ・ 麦の熟するころ降る雨。
- 瑞雨(ずいう) ・ 穀物の成長を助ける雨。
- 驟雨(しゅうう) 積乱雲や高層雲など、低い雲から降る。
- 地雨(ぢあめ) 積乱雲や高層雲など高い雲から降る。

父の日

6月18日
(6月第3日曜日)

子供が父親に対する「感謝の気持ち」を表す日。1909年。アメリカのドット夫人が「母の日が制定されたのに父の日がないのはおかしい」と提唱したのがきっかけ。1972年にアメリカで正式な国民の祝日となりました。母の日のカーネーションのようにはとくていされていませんがドット夫人が父親の墓前に白バラを供えたことからバラを贈ることが多いようです。